

# 輝くねむろ

We Love Nemuro!



## サンマ輸出ルート確立のために

根室市と根室市アジア圏輸出促進協議会では、官民共同でアジア圏に向けて根室市の水産物等の輸出促進を図る「海外市場調査支援事業」を推進しています。

この事業の取り組みで、海外展開計画に対する助言や商品紹介の外国語対応支援などを行う海外市場調査支援員のレ・ティ・トゥ・チャンさんが、市役所総合政策室に配属されています。

「根室で獲れる水産物は、高品質で安全ということは知っていました。実際に食べてみて、すべてが新鮮でおいしいことに驚きました。」と、

根室産品を味わった感想を笑顔で話しながら、ベトナムに住む家族とともに見た、根室を紹介する資料の中から、すばらしい自然と半島に生きる野鳥の姿に感動したことも話してくれました。

「毎日が緊張の日々ですが、根室の方々のまちを活性化しようとする姿勢に負けないように、少しでも手助けができればと思っています。」と語るチャンさん。貿易実務の専門的な知識と経験を持つチャンさんに、海外市場開拓の一つとなるベトナムへのサンマ輸出の具体化に向け、大きな期待が寄せられています。



ベトナム市場でのブランドマーク発表に立ち会うチャンさん

### profile レ・ティ・トゥ・チャン さん

根室市海外市場調査支援員

1986年ベトナムハノイ市生まれ。平成23年6月から海外市場調査支援員として根室市に着任。日本語能力1級、貿易実務学士号、経営学修士(MBA)等を取得。日本ドラマの鑑賞と自然散策を趣味とする。



3月11日の東日本大震災後は、東北地方の地図のコピー依頼や地名、電話帳所蔵の問い合わせなどが増えました。

そんな中、新聞や雑誌の書評欄には、吉村昭さんの「三陸海岸大津波」が度々紹介されています。「三陸海岸大津波」は、明治29年、昭和8年、同36年の三陸海岸を襲った大津波の前兆・被害・救援の様子を、貴重な証言を基に再現した作品です。昭和45年の作品で、取材年数約20年といわれており、今でも貸し出しが絶えません。

吉村さんといえば、北海道との関わりは深く、執筆された作品は20作以上で、来道回数は100回を超えるといわれています。

道東地方を舞台にした作品には「大黒屋光大夫」、「海馬」、「破獄」等があり、エッセイ集「味を訪ねて」には、「タラバ蟹の記憶」と題した文があります。妻（作家の津村節子さん）と東北・北海道への行商の旅では、根室の缶詰工場でタラバ蟹の脚をわけてもらい、その印象を「・・・その折食べたタラバ蟹のうまさは、今でも忘れることができます」と記しています。また、津村節子さんは、後に行商の旅をモチーフにした作品「さい果て」を発表しています。

### 作家吉村昭さんと根室

## 図書館からの おくりもの

嘱託司書 浅野正弘  
図書館 TEL (23) 5974番



「三陸海岸大津波」と「味を訪ねて」